

居合道たより 25号



# 居合道ながさき



## <人間の 海鼠となりて 冬籠(寺田寅彦)・大雪>

大雪は24節気です。12月7日頃です。冬至までの期間です。小雪から数えて15日目頃です。山岳だけでなく、平野にも降雪のある時節ということから大雪といわれています。この頃から本格的に雪が降り始めると言われています。この頃になると九州地方でも初氷が張り、全国的に冬一色になります。また、スキー場がオープンや熊が冬眠に入るのもこの頃です。鰯(ぶり)など冬の魚の漁も盛んになります。※「おおゆき」ではなく「たいせつ」と読みます。



写真：センリョウ  
花言葉：「恵まれた才能」

### 風花(かざはな)

この頃になると晴天の青空の中をハラハラと舞うように降る雪のこと。本格的な冬の前触れとされています。私たちも実りの秋が過ぎ、いよいよ寒い冬になります。居合道の稽古も春までは各自が地道に基本を大切に続けていきたいものです。

## 報告(1)・56回全日本居合道大会都道府県対抗優勝試合

### 五段の部 畑中健佑(長崎市 企業勤務)全国3位入賞！！

第56回全日本居合道大会都道府県対抗優勝試合が令和3年10月9日(土)東京武道館にて開催されました。五段、六段、七段の都道府県代表選手がトーナメント方式で古流2本(自由技)、全日本剣道連盟居合3本(指定技)の計5本の技で対戦し、各段の個人のポイントの合計が団体の総合成績となります。

本県からは監督として高木志伸居合道教士七段、選手として中村武文(七段の部)、岩男徹史(六段の部)、畑中健佑(五段の部)の3名が参加しました。全日本居合道大会団体戦の結果は長崎県47都道府県中、団体16位(4.13点)でした。優勝は神奈川県、2位新潟県、3位が東京都でした。個人は七段の部 中村武文が1回戦敗退、六段の部 岩男徹史1回戦敗退、五段の部 畑中健佑が3位入賞でした。

### 長崎県団体戦16位(4.13点)

#### 個人の部

- 七段 1回戦敗退 中村武文(南島原市 自営業)
- 六段 1回戦敗退 岩男徹史(平戸市 企業勤務)
- 五段 準決勝進出 畑中健佑(長崎市 企業勤務)
- 監督 教士七段 高木志伸(葉遊会・佐世保市)

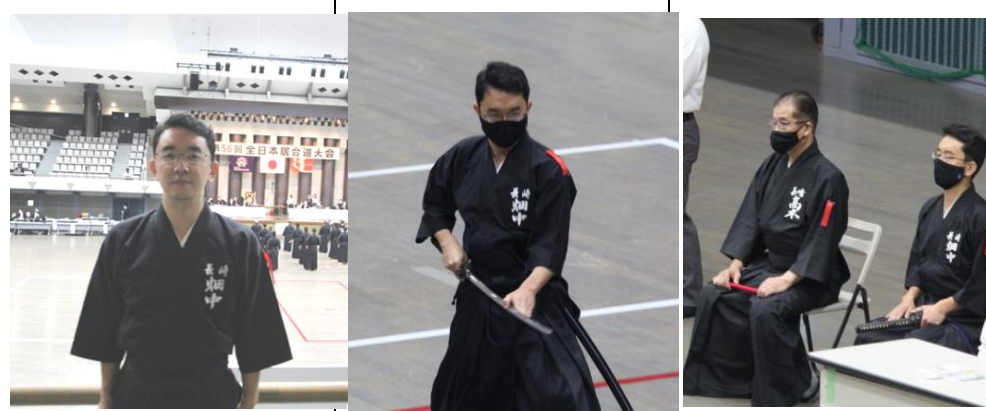
#### 団体総合成績

第1位	神奈川県
第2位	新潟県
第3位	東京都



居合道 長崎県選手団

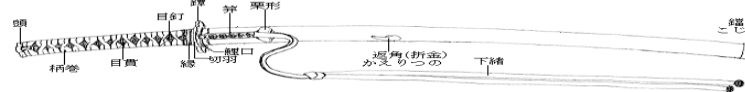
第56回全日本居合道大会(東京武道館)



五段の部 第3位 畑中健佑

指定業 添え手突き

準決勝戦前の控え席で待機



## 報告(2)・全剣連居合道中央講習会伝達講習会

令和3年11月28日(日)諫早市森山スポーツ交流館において長崎県剣道連盟居合道部の中央講習会伝達講習会を実施しました。本講習会が新型コロナウイルス感染拡大対策のために9月12日(日)実施予定でしたが、緊急事態宣言発令のため延期となりました。居合道伝達講習会は県内の居合道講習会の中でも最重要とされる講習会です。本県居合道部では居合道講習会、審査会のガイドラインに沿って、本講習会の準備をしてきました。検温、消毒、健康管理、マスク、熱中症対策、などの感染防止対策をしました。

今年度の居合道中央講習会は6月26日(土)、27日(日)に大分県別府市昭和電工武道センターでの西日本地区居合道会と同時並行での開催でした。

開講式を前に本年度東京都で開催された全日本都道府県対抗居合道大会において五段の部第3位の畑中健佑さんへの長崎県剣道連盟表彰式が行われ、小野田稔理事長より授与されました。

伝達講習会の内容はコンプライアンスに関する講話を30分程度行った後に基本的には毎年やっている伝達講習会同様に全日本剣道連盟居合解説をもとに実技講習会を午前中実施しました。午後からは六段以上の先生方による審判講習会、段外～五段による模擬試合をしました。

講習会には新型コロナウイルス感染拡大防止のため、通常の講習会の70%の40名の参加でしたが、皆さん休憩をとりながら、熱中症にかからないようにマスクをしての講習会参加となりましたが、多くの質問が飛び交う素晴らしい講習会になりました。これも一重に開催当番地区の諫早地区の皆さんの運営のお陰だと感謝しています。新型コロナに屈しない長崎県居合道部を感じました。

### 伝達講習会日程と内容

- 1) 長崎県剣道連盟 表彰 小野田稔 長崎県剣道連盟理事長  
該当者：全日本居合道大会五段の部 第3位 畑中健佑
- 2) 居合道におけるコンプライアンス・ガバナンス講習会 講師：高木志伸
- 3) 全日本剣道連盟居合道 実技講習 講師：高木志伸、平 禮道
- 4) 全日本剣道連盟居合道 演武①(1本目～12本目)段外～五段
- 5) 昼休み(臨時居合道理事会)
- 6) 全日本剣道連盟居合道 演武②(1本目～12本目)段外～五段
- 7) 全日本剣道連盟居合道 審判講習 講師：高木志伸、平 禮道
  - i) 審判法解説 (運営、細則及び所作)
  - ii) 審判実技(六段、七段)及び模擬試合(段外～五段)

### 【伝達講習会に参加して】

講習会に参加された皆様お疲れ様でした。講習会で言われる技術的な事は普段高木志伸先生が言われている事と変わりませんでした。私は今まで、亡くなった師匠に指導をして頂いていました。地区講習会の事や全日本居合道大会でどのようにしていけば居合道が勝つかと言う事もあまり詳しく聞く機会がありませんでした。長崎県内で開催される年4回の講習会に参加して全国のトレンドを知っておられる七段の先生方に見てもらい、課題を貰い、半年かけて次の講習会で良くなっているか見てもらい、そしてまた課題を貰いと、数少ない情報を手に入れる貴重な場所です。私は前回の講習会で全日本の選手の方々から本当に大きな刺激を受けました。

また、今回の講習会では全日本居合道大会で全国3位の畑中さんや先日、居合道中央審査で七段に昇段された竹本先生にお祝いを直接言いたいから参加しなきゃと小さい事ですが参加する楽しみを作って参加しました。講習会では全日本居合道大会の選手と模擬試合もさせて頂いて課題も見つけたり内容も充実していました。もちろん私も休みの日に家族サービスせずに車で遠くまで出かけるより家族と一緒にいて、好きなことをしたいというサボり心もありましたが、やはり参加して良かったと思いました。皆さんももし、時間があるならば、小さな事でもいいと思いますので何か楽しみをもって一度参加してみたらどうでしょうか？何かしら得られるものや楽しみがあるかもしれません。(佐世保剣心会 作永憲昭)



全日本居合道大会第3位 県連表彰



居合道講習会実技指導



審判講習での所作指導



模擬試合を演武する受講生

**報告(3)・令和3年度長崎県剣道連盟秋季居合道段位審査及び講習会**

令和3年10月3日(日)諫早市ふれあい広場中央体育館において秋季長崎県居合道段位審査会及び講習会が開催されました。昨年度は新型コロナウイルス感染防止対策のために春の講習会及び段位審査会、長崎県居合道段別選手権大会が中止になりました。本年4月に開催された段位審査会引き続き、今回、段位審査会を開催することができたことは喜ばしいことでした。今回の審査会は新型コロナウイルス感染対策ガイドラインに沿って実施されました。段位審査会を前に審査員長の剣道範士八段佐藤信秀より審査を受審するにあたっての挨拶がありました。審査員はシールド及びマスク着用、受審査者はマスク着用での審査会となりました。

＜昇段審査＞

今回の昇段審査は午前10:00より初段から二段まで実施されました。全日本剣道連盟居合解説書に定める審判・審査上の着眼点をもとに厳選な審査が行われました。審査結果は初段2名、二段2名、合計受審者4名合格4名合格率100%でした。審査会後に実技と学科合格者の発表が行なわれ、講評を審査委員長より、受審者全員に向けてありました。今回の段位審査会は新型コロナ感染対策のため、緊急事態宣言が発令され、道場によっては2ヶ月間稽古が出来ずに段位審査会受審にも大きな影響があり、4名という少ない受審での段位審査会実施となりました。しかし、内容的には審判・審査上の着眼点を十分に満たしている素晴らしい内容でした。各道場で日頃から指導されたことが確実に身につけていることが感じられました。

＜居合道講習会＞

午後からの講習会は居合道教士七段高木志伸居合道部長より、居合道講話があり、居合道におけるガバナンス・コンプライアンスの取り組みと午前中の段位審査会での留意点や基礎基本を重点に説明、解説があり、その後檀崎友彰居合道範士九段の「つねに居合の本質にそって抜け」と山鳥重吉居合道範士「居合道 昭和の名人」の資料説明がありました。実技講習は段外から六段まで各段に別れ、七段の先生方が指導にあたりました。講習生はそれぞれが目的を持って先生方の指導を受けていました。講習会参加者は段外4名、初段3名、二段0名、三段3名、四段5名、五段9名、六段6名、七段10名、合計40名が参加しました。

1	初段	織田慶次	尚武館(雲仙市)
2	初段	永岡未来	修道塾(西彼杵郡)
3	二段	濱本陽菜	剣倫会(長崎市)
4	二段	澤勢瑞城	遊道会(長崎市)

指定技 【初段～三段】

- ①前 ②後 ③柄当て④袈裟斬 ⑤諸手突き

「段位審査会及び秋季講習会の様子」

	
<p>新型コロナウイルス感染対策の審査会</p>	<p>初段審査 5本目、袈裟斬り(八相の構え)</p>
	
<p>学科試験は30分で回答をする。</p>	<p>二段審査 5本目、袈裟斬り (お手本のような抜き付け)</p>
	
<p>最後に演武を披露する受講生</p>	<p>実技指導を熱心に受講する講習生</p>